

第7回

海環境と生物および沿岸環境修復技術に関するシンポジウム

研究発表・特別講演
プログラム

2008年7月16日(水)・17日(木)

於 「北海道大学クラーク会館」

主催：海環境シンポジウム実行委員会

共催：北海道大学・東海大学海洋学部・海底環境研究会

第7回 海環境シンポジウム実行委員会

委員長 白澤 邦男 北海道大学

幹事長 福江 正治 東海大学

幹事 北 勝利 東海大学 綿貫 啓 (株)アルファ水エコンサルタンツ

幹事 金山 素平 九州大学大学院 荒川 久幸 東京海洋大学

委員 秋元 政人 興亜開発(株) 谷 茂 (独)農業工学研究所

井関 和夫 広島大学大学院 谷口 旭 東京農業大学

上 眞一 広島大学大学院 成岡 市 三重大学

上野 薫 中部大学 西岡 純 北海道大学

上原 弘次 国土総合建設(株) 二宮早由子 (株)東京久栄

遠藤 和人 国立環境研究所 野村 宗弘 東北大学大学院

大塚 夏彦 北日本港湾コンサルタント(株) 服部 寛 北海道東海大学

大坪 政美 九州大学大学院 古河 幸雄 日本大学

岡本 峰雄 東京海洋大学 星加 章 (独)産業技術総合研究所

小田原卓郎 清水建設(株) 宮島 徹 佐賀大学

加藤 義久 東海大学 宮田 康人 JFEスチール株式会社

木村 賢史 東海大学 村上 和男 武蔵工業大学

佐々木正史 北見工業大学 山口 征矢 東京海洋大学

佐藤 博雄 東京海洋大学 山崎 哲生 大阪府立大学大学院

佐藤 義夫 東海大学 山崎 正一 青木マリーン(株)

佐藤泰一郎 高知大学 吉永 安俊 琉球大学

澤本 彰三 東海大学 渡部 要一 (独)港湾空港技術研究所

島多 義彦 (株)フジタ

末永 慶寛 香川大学

2008年7月16日(水) 北海道大学クラーク会館

9:00-	受付開始	総合司会 西岡 純 (北海道大学)
9:30-9:40	開会の辞 白澤邦男 (実行委員長 北海道大学)	
9:40-9:50	歓迎の挨拶 佐伯 浩 (北海道大学総長)	
9:50-11:05	セッション1 (物質移動)	座長 成岡 市 (三重大学)
[1-1]	オホーツク海における金属元素の堆積過程について	南 秀樹・岡崎寛大・小西由紀・西岡 純・長尾誠也 中塚 武・加藤義久
[1-2]	オホーツク海の中層水形成過程に伴う微量栄養物質の移送	西岡 純, 中塚 武, 白岩孝行
[1-3]	筑後川から有明海への鉄移送に果たすコロイド粒子の役割	伊藤大吾・工藤広史・蒲池将史・児玉宏樹・宮島 徹
[1-4]	天塩川河口域の鉛直断面構造と物質輸送過程	請川知彦・佐藤尚哉・柴沼成一郎・門谷 茂
[1-5]	西表島浦内川マングローブ域における海水交換と化学成分の輸送	澤木千恵・安田訓啓・佐藤義夫・澤本彰三・福江正治
11:05-11:20	休憩	
11:20-12:05	セッション2 (水質浄化)	座長 谷本照己 (産業技術総合研究所)
[2-1]	湖水および沿岸域の水質浄化に関する研究	高橋由佳・佐藤義夫・福江正治・湊 太郎
[2-2]	製鋼スラッグの硫化水素発生抑制効果 (予備実験)	谷口 旭・茂木良寛・西野康人・佐藤智希
[2-3]	発光ダイオードを用いた貧酸素水塊の解消に関する研究	横山由香・大石友彦・佐藤義夫・江端弘樹
12:05-13:30	昼食	
13:30-14:45	セッション3 (生物と環境)	座長 岡本峰雄 (東京海洋大学)
[3-1]	海底堆積物中のリン含有量を用いた過去の魚類生産の推定	表 倫子・別所尚美・門谷 茂
[3-2]	亜寒帯汽水湖 (火散布沼: 北海道) における環境傾度に沿った底生生物群集の変動	梶原瑠美子・小森田智大・柴沼成一郎・山田俊郎・堤 裕昭・門谷 茂
[3-3]	河川からの土砂流入が沿岸域の生物へ及ぼす影響	大嶋理照・鈴木良平・吉河秀郎・長澤裕美・根元謙次・木村賢史
[3-4]	開放的な砂浜の魚類相	須田有輔・永田隆一・樋渡武彦・中根幸則・井上 隆・大富 潤 早川康博・國森拓也・濱岡荘司
[3-5]	亜寒帯汽水湖 (火散布沼: 北海道) に高密度で生息するアサリ (<i>Ruditapes philippinarum</i>) の個体群動態と生産生態に関わる物質循環過程	小森田智大・堤 裕昭・柴沼成一郎・山田俊郎・梶原瑠美子・門谷 茂

14:45-16:00

セッション4 (栄養塩とD0)

座長 佐々木正史 (北見工業大学)

【4-1】 亜寒帯半閉鎖性汽水湖 (火散布沼) における窒素およびリンの挙動

畑中紫臣・小森田智大・柴沼成一郎・梶原瑠美子・石丸夏海・山田俊郎・門谷 茂

【4-2】 風蓮湖の水理構造と栄養塩の挙動

真名垣友樹・竹中理登・柴沼成一郎・門谷 茂

【4-3】 天塩川河川水の低次生産能力の評価とシジミ生産への寄与

佐藤尚哉・柴沼成一郎・門谷 茂

【4-4】 亜寒帯汽水域干潟 (火散布沼) における栄養塩ダイナミクスについて

石丸夏海・柴沼成一郎・門谷 茂

【4-5】 オホーツク海の海氷中栄養塩濃度について-砕氷船『そうや』による観測から-

野村大樹・豊田威信・的場澄人・西岡 純・白澤邦男

16:00-16:15

休憩

16:15-17:45

セッション5 (計測とモデリング)

座長 安田訓啓 (東海大学)

【5-1】 サロマ湖における貧酸素水塊の消長過程について

中澤広幸・皆川賢之・前川公彦・福山龍次・門谷 茂

【5-2】 サロマ湖での湖内循環の現況把握

楠山哲弘・今 宗紀・小松勝久・水口陽介・酒向章哲・佐藤達明・若林隆司

【5-3】 潮流シミュレーションによる流れ藻の漂流解析

井下恭次・安藤 亘・木村智也・石田和敬

【5-4】 オホーツク海熱塩循環の数値実験

三寺史夫・松田淳二・中村知裕・内本圭亮・中野渡拓也・江淵直人

【5-5】 オホーツク海における海氷・海洋生態系モデルに関する研究

川内雅雄・山口 一

【5-6】 有明海奥部西岸域の貧酸素水塊の発生について

瀬口昌洋・郡山益実・石谷哲寛

18:30-

情報交換会

(北海しゃぶしゃぶ)

2008年7月17日(木)

9:30-10:30

セッション6 (サンゴとマングローブ)

座長 金山素平 (九州大学大学院)

〔6-1〕サンゴの再生産力評価法の開発

Kakaskasen Roeroe・葉 明麗・岡本峰雄・小山田久美

〔6-2〕日本最南端沖ノ鳥島産ミドリイシ属サンゴの種苗生産

中村良太・綿貫 啓・青田 徹・北野倫生・藤田孝康

〔6-3〕マングローブ林内における汽水環境-沖縄県宮古島川満マングローブ林の例-

内藤美菜子・長谷川有花・廣住豊一・甲斐貴光・中西康博・成岡 市

〔6-4〕マングローブ成育下における泥土層の構造形成-沖縄県宮古島川満マングローブ林の例-

高井真実・阪本和憲・甲斐貴光・廣住豊一・中西康博・上野 薫・成岡 市

10:30-11:45

セッション7 (藻場と底泥)

座長 宮島 徹 (佐賀大学)

〔7-1〕超音波を用いた藻場分布の遠隔計測

谷本照己・高杉由夫・星加 章・橋本英資・櫻本康之・山本房市

〔7-2〕鉄鋼スラグ製新素材による藻類増殖具の開発

岡本峰雄・石本大樹・岩田 至・二平 章・鴨下真吾・小山田久美

〔7-3〕有明海干潟底質粒子のフロック構造と底質フミン酸化学構造の相関

廣松直樹・工藤広史・蒲池将史・宮島 徹

〔7-4〕博多湾底泥中のトリブチルスズと有機物の分布ならびに両者の関係について

大坪政美・東 孝寛・金山素平・井上 英

〔7-5〕汽水湖堆積物の堆積環境

原田 透・中川拓・福江正治・佐藤義夫・加藤義久・古河幸雄

11:45-13:30

昼 食

13:30-14:30

司会 福江 正治 (東海大学)

特別講演

韓国最大の油流出事故と海環境汚染

講師 田崎和江 (金沢大学大学院)

14:30-15:45

セッション8 (海環境とエネルギー資源)

座長 山崎哲生 (大阪府立大学大学院)

〔8-1〕氷海域流出油回収装置-NMRI-ORDICE-の研究開発

金田成雄・下田春人・若生大輔・瀧本忠教・泉山 耕

〔8-2〕海岸漂着油による砂質海岸および礫質海岸の汚染特性

大塚夏彦・佐々木邦昭・石川 清・濱田誠一

〔8-3〕メタンハイドレート資源開発への取組み-バイカル湖のメタンハイドレート堆積層でのコア採取とCPT-

西尾伸也・安部 透・山下 聡・Oleg Krystov

〔8-4〕オホーツク海における海洋と大気間のメタン交換量の推計

端 孝之・佐々木正史・遠藤 登・林 祐介

〔8-5〕オホーツク海における氷海流出油挙動予測システムの開発

山口 一・原 圭吾・黒川 明

15:45-15:55

閉会の辞

福江正治 (東海大学)

